

加算スルヲ以テ足レリトスルナリ(テ、チーチュア)

○露國ニ於ケル蒸氣機關車ノ數 本年ノ初頭ニ於ケル露國ノ機關車ハ其數八千二百二十三輛ニシテ此内殆ント八分ノ一ハ複式蒸氣機ナリ又此機關車總体ノ殆ント半數ハ露國ニ於テ製造セラレ其四割五分ハ千八百八十年以前ノ製造ニ係レリ又其使用スル燃料四割ハ石炭三割二分ハ石油、二割八分ハ木材ナリト云フ

○歐羅巴ニ於ケル電氣鐵道 佛國電氣雜誌ニ記載スルトコロニ依レハ歐洲ニ於テ電氣鐵道ノ最近統計左ノ如シ(ブラクチカルインジニア)

國名	全長 (キロメートル)	電車數	樣式					線路數
			架空線	地下線	中央軌道	蓄電器		
獨逸	六四二・六九	一、六三一	四五	二			五一	
英吉利	一〇九・四二	一六八	一〇	一	六	一	一八	
澳地利匈牙利	八三・八九	一九四	七	二			一〇	
比耳時	三四・九〇	七三	四	一			五	
ポスニア	五・六〇	六	一				一	
西班牙	四七・〇〇	四〇	三				三	
佛蘭西	二七九・三六	四三二	一九	一	一	五	二六	
和蘭	三・二〇	一四				一	一	
愛爾蘭	一八・〇〇	三二	一		一		二	

伊太利	一一五・六七	二八九	九						九
瑞典諾威	七・五〇	一五	一						一
葡萄牙	二・八〇	三	一						一
ローマニア	五・五〇	一五	一						一
露西亞	一四・七五	四八	二	一					三
ベルグイア	一〇・〇〇	一一	一						一
瑞西	七八・七五	一二九	一七						一七
計	一、四五九・〇三	三、一〇〇	一二二	八	八	一二	一五〇		

(右二件 T. N.)

○フエーエ及シヤムーニツクス間電氣鐵道

レビユウデ、エレクトリシツトノ記スル所ニ由レハ佛國ノ巴里里昂及地中海會社ハフエーエシヤムーニツクス間ニ電氣鐵道ヲ建築シテ此兩地ヲ連絡セシメントシ不日其工事ニ着手スベシト云フ而シテ其車輛ハ自動電動機ト稱スルモノニシテ電流ハ金屬製集電子ヲ以テ軌條ヨリ收取スル計畫ナリ此法ハ已ニサリイフ鐵道ニテ使用セラレ居レリ(原動力ハ二ヶ所ノ停車場ニアルグ河ノ水ヲ引キ水力電氣ヲ發生セシメ之ヲ使用スル目論見ニテ其落差ハ二百四十呎ナリ而シテ此線路ノ延長ハ十一哩以上ニ登リ五回アルグ河ヲ通過スベシ(サイエンチファイック、アメリカン)

○長距離ノ電話

去ル六月英國ノマンチエスタート白耳義ノブラセルストノ間ニ直通ノ電話交換ヲ試験セリ此試験ニ於テハ無論海陸兩電線ヲ使用シ即チブラセルスヨリクートレ